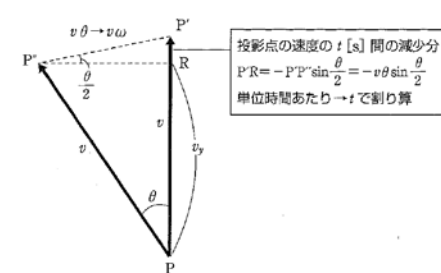
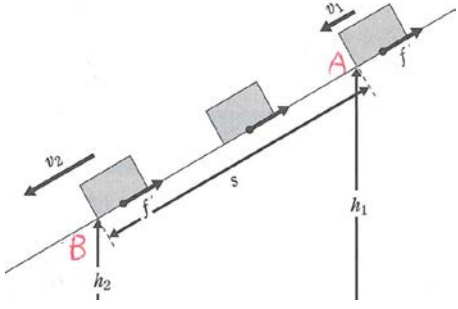


本書には下記のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

箇所	誤	正
p.17 1-2 演習問題の3.(4)	25km	0.25km
p.19 [例1] の3行目	18+16(=44)	18+16(=34)
p.29 3.(2)	ただし、 $\sqrt{2}=1.4\cdots$	ただし、力の単位はN(ニュートン)とし、 $\sqrt{2}=1.4\cdots$
図1の縦軸横軸	y, x	y[N], x[N]
p.58 例題 下から2行 下から1行	50 2200 2.2 (2箇所)	70 2400 2.4 (2箇所)
p.90 例題 解答 解答1行	(1行目の前に挿入) 3,1 2.03	1年間の秒数 $T=365\times 24\times 60\times 60=3.15\times 10^7\text{ s}$ 3.15 2.0
p.100 図5-6	(図を右のように変更)	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 投影点の速度の t [s] 間の減少分 $P'R = -P'P' \sin \frac{\theta}{2} = -v \theta \sin \frac{\theta}{2}$ 単位時間あたり $\rightarrow t$ で割り算 </div>
p.100 14行目	$P'P'' \sin \theta$	$P'P'' \sin \theta/2$
p.104 例題 解答2行 解答3行	[k] [k] = $\cdots = [\text{kg/s}^2]$	[k] [k] = $\cdots = [(\text{kg}\cdot\text{m/s}^2)/\text{m}] = [\text{kg/s}^2]$
p.116 例題 (答)	$5.6\times 10^2\text{ J}$	5.6 J

p.125 図 6-18	(右図のように点Aと点B入れる)	
p.134 図 7-5	$\dots(v_x^{2*} + v_y^{2*} + v_z^{2*})$	$\dots(v_x^{2*} + v_y^{2*} + v_z^{2*})$
p.139 3行目	\dots 分子の数が 0.01mol, \dots	\dots 分子のモル数が 0.01mol, \dots
p.142 下から 14 行目	N [mol]を \dots	N [個]を \dots
p.144 5行目	n [mol/m ³]が \dots	n [個/m ³]が \dots
p.145 下から 2 行目	\dots 気体の全分子数を N [mol]と \dots	\dots 気体の全分子のモル数を N [mol]と \dots
p.149 7-2 演習 問題 4.と 5.(2)	N [mol]	N [個]
p.159 6.	0.789kg/m ³	0.789g/cm ³
p.164 側註 6	\vec{r}_{12} の向きを逆にとる本もあるが、この本では「1→2」の向きとする。	$\vec{r}_{21} = -\vec{r}_{12}$ である。
p.165 側註 7	ただし、 $\vec{r} = \vec{r}_2 - \vec{r}_1$ と表すことがある。 \dots 3乗になっているが、分子に r があるので、全体としては r の2乗 \dots	ただし、 $\vec{r} = \vec{r}_2 - \vec{r}_1$, $r = \vec{r} $ と表すことがある。 \dots 3乗になっているが、大きさは r の2乗 \dots
p.167 下から 13 行目	クトルを \vec{a} の \dots	クトル \vec{e}_a を \vec{a} の \dots
p.248 1-2 演習 問題 3. (4)の解答	$\dots = 0.25 \times 10^3 \text{ km} = \dots$	$\dots = 0.25 \times 10^3 \text{ m} = \dots$
p.251 9-1 演習 問題 8. の解答	波長 0.4m	波長 0.8m